

上場会社名 オムロン株式会社 上場取引所 東証 市場第一部  
 コード番号 6645 URL <https://www.omron.com/jp/ja/>  
 代表者 役職名 代表取締役社長 CEO  
 氏名 山田 義仁  
 問合せ先責任者 役職名 執行役員 グローバル理財本部長 TEL (075)344-7070  
 氏名 大上 高 充  
 四半期報告書提出予定日 2022年2月10日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : ・無  
 四半期決算説明会開催の有無 : ・無 (投資家向けウェブおよび電話説明会 1月28日開催)

(百万円未満四捨五入)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績 (2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	558,609	19.0	66,858	57.5	63,731	36.2	44,815	32.2
2021年3月期第3四半期	469,570	△5.8	42,437	5.8	46,779	10.6	33,912	△52.2

(注) 四半期包括利益 2022年3月期第3四半期 65,599百万円 (59.1%) 2021年3月期第3四半期 41,230百万円 (△46.8%)

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	222.53	—
2021年3月期第3四半期	168.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計 (純資産)	株主資本	株主資本比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	841,646	634,110	631,519	75.0
2021年3月期	820,379	609,358	606,858	74.0

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	42.00	—	42.00	84.00
2022年3月期	—	46.00	—	—	—
2022年3月期 (予想)	—	—	—	46.00	92.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有・無

3. 2022年3月期の連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当社株主に帰属する当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	760,000	15.9	88,000	40.8	83,000	27.5	57,000	31.6	283.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : ・無

詳細は、添付資料5～6ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有・無

新規 一社（社名） 除外 一社（社名）

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有・無

(3) 会計方針の変更

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有・無

② ①以外の会計方針の変更：有・無

(注) 詳細は、添付資料12ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2022年3月期3Q	206,244,872株	2021年3月期	206,244,872株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2022年3月期3Q	7,052,828株	2021年3月期	4,574,294株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2022年3月期3Q	201,390,043株	2021年3月期3Q	201,699,179株
------------	--------------	------------	--------------

(注) 2022年3月期第3四半期連結会計期間末において、役員報酬BIP信託及び株式付与ESOP信託として保有する当社株式606,434株は、期末自己株式数に含めて記載しています。また、期中平均株式数には、1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益の算出において控除する自己株式として含めています。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想などは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまなリスクや不確定な要素などの要因により、異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5～6ページ

「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 当社は、米国会計基準に基づき連結損益計算書の表示形式としてシングルステップ方式（段階利益を表示しない方式）を採用していますが、他社との比較可能性を高めるため、当決算短信の「営業利益」は、「売上総利益」から「販売費及び一般管理費」、「試験研究開発費」を控除したものを表示しています。

3. 当社は、2022年1月28日（金）に投資家向けウェブおよび電話説明会を開催する予定です。

事業の種類別セグメントの名称を次のとおり略して記載しています。

IAB： インダストリアルオートメーションビジネス（制御機器事業）

EMC： エレクトロニック&メカニカルコンポーネンツビジネス（電子部品事業）

SSB： ソーシャルシステムズ・ソリューション&サービス・ビジネス（社会システム事業）

HCB： ヘルスケアビジネス（ヘルスケア事業）

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	P. 2
(1) 経営成績に関する説明 .....	P. 2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	P. 5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	P. 7
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	P. 7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	P. 9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	P. 11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	P. 12
(継続企業の前提に関する注記) .....	P. 12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	P. 12
(会計方針の変更) .....	P. 12
(セグメント情報) .....	P. 13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### ○全般的概況

第3四半期（2021年10月～12月）における当社グループを取り巻く事業環境は、中華圏・アジア・米州を中心としたデジタル業界の旺盛な需要に加えて、地球環境保護への社会的な要請を背景として、カーボンニュートラルや脱プラスチック関連投資も拡大しました。また、コロナ禍により、生活習慣病の重症化予防の重要性が消費者に再認識される中、家庭用医療機器の需要が拡大しました。一方で、サプライチェーンの混乱が継続し、不足している部材の範囲や部材価格・物流費の高騰の影響が想定以上に拡大しました。

このような事業環境の中で、制御機器事業では、拡大する半導体、電気自動車、二次電池、食品包装機械などの設備投資需要に応えるため、ソリューション提案力を継続して強化するとともに、部材確保や増産対応に取り組みました。また、ヘルスケア事業では、グローバルで拡大が続く血圧計需要に応えるため、薬局チャンネルやオンラインチャンネルでのプロモーションを引き続き強化するとともに、生産能力確保や物流改善に取り組みました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、サプライチェーン混乱の影響拡大を受けて当社想定を下回ったものの、前年同期比で大きく増加しました。売上総利益率は、部材価格・物流費の高騰の影響を受けましたが、変動費低減や生産効率化などの内部努力により、前年同期比で向上しました。営業利益は、これまでに培ってきた高い収益力と売上高増加により、前年同期比で大きく増加しました。なお、営業利益は第3四半期連結累計期間としては過去最高となりました。

当第3四半期連結累計期間の業績結果は以下のとおりです。

	2021年3月期 第3四半期連結累計期間	2022年3月期 第3四半期連結累計期間	増減率
売上高	4,696億円	5,586億円	+19.0%
売上総利益 (売上総利益率)	2,139億円 (45.6%)	2,564億円 (45.9%)	+19.8% (+0.3P)
営業利益 (営業利益率)	424億円 (9.0%)	669億円 (12.0%)	+57.5% (+2.9P)
税引前四半期純利益	468億円	637億円	+36.2%
当社株主に帰属する 四半期純利益	339億円	448億円	+32.2%
米ドル平均レート	106.2円	111.0円	+4.8円
ユーロ平均レート	121.8円	130.8円	+9.0円
人民元平均レート	15.3円	17.2円	+1.9円

○セグメント別の状況

**IAB (制御機器事業)**

	2021年3月期 第3四半期連結累計期間	2022年3月期 第3四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	2,529億円	3,213億円	+27.1%
営業利益	419億円	593億円	+41.5%

<売上高の状況>

製造業の設備投資需要はグローバル全エリアにおいて拡大しました。デジタル業界においては、中華圏・アジア・米州を中心に半導体・二次電池の設備投資需要が拡大しました。加えて、これらの投資増加に連動して日本の装置メーカー向けの需要が伸びました。自動車業界においては、電気自動車向けの設備投資需要が増加しました。食品・日用品業界においては、欧州を中心に包装機械などの設備投資が堅調に推移しました。これらの結果、第3四半期の部材調達量がサプライチェーン混乱の影響を受けて当社想定を下回ったものの、売上高は前年同期比で大きく増加しました。

<営業利益の状況>

売上高の大幅な増加などにより、営業利益は前年同期比で大きく増加しました。

**EMC (電子部品事業)**

	2021年3月期 第3四半期連結累計期間	2022年3月期 第3四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	618億円	785億円	+26.9%
営業利益	15億円	68億円	+343.4%

<売上高の状況>

民生業界を中心として需要の拡大が継続しました。特に、家電や住宅設備、電動工具などの注力業界を中心に需要が堅調に推移しました。自動車向け部品の需要は、昨年のコロナ禍のロックダウン影響を脱したものの、顧客での半導体不足による生産調整の影響を受けて、緩やかな回復にとどまりました。これらの結果、売上高は前年同期比で大きく増加しました。

<営業利益の状況>

売上高の大幅な増加や付加価値向上に加え、これまでの構造改革の成果により、営業利益は前年同期比で大きく増加しました。

## SSB (社会システム事業)

	2021年3月期 第3四半期連結累計期間	2022年3月期 第3四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	586億円	552億円	△5.8%
営業利益(△損失)	△6億円	△9億円	—

### <売上高の状況>

駅務システム事業では、長引くコロナ影響を受けて、主要顧客の投資抑制が継続しました。エネルギーソリューション事業では、カーボンニュートラルや防災・減災の需要の高まりに対して、部品の確保に取り組み、蓄電システムの売上高は大きく拡大しました。これらの結果、売上高は前年同期比で減少しました。

### <営業利益の状況>

付加価値向上や生産性改善に取り組みましたが、売上高の減少や海外からの仕入部品に対する為替影響などにより、営業利益は前年同期比で減少しました。

## HCB (ヘルスケア事業)

	2021年3月期 第3四半期連結累計期間	2022年3月期 第3四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	925億円	1,011億円	+9.3%
営業利益	169億円	162億円	△4.3%

### <売上高の状況>

血圧計の需要は、コロナ禍による生活習慣病の重症化予防に対する意識の高まりを背景に、グローバルで拡大が継続しました。また、ネブライザの需要も回復し始めました。一方で、体温計は、コロナワクチン接種の普及に伴って国内の需要が減少しました。コロナ影響による工場操業制限やサプライチェーン混乱の影響を受けて、第3四半期の製品供給量は当社想定を下回るものの、これらの需要を薬局チャンネルやオンラインチャンネルで着実に捉えた結果、売上高は前年同期比で増加しました。

### <営業利益の状況>

部材価格や物流費の高騰などにより、営業利益は前年同期比で減少しました。

## (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く事業環境は、第4四半期においても、デジタル業界などを中心に旺盛な設備投資が継続すると見えています。また、生活習慣病の重症化予防やカーボンニュートラルなどへのニーズも引き続き拡大すると見えています。一方で、不足部材の範囲や部材価格・物流費高騰の影響が広がっており、これらの当社グループの業績に与える影響は、前回予想の想定から拡大する見込みです。以上を踏まえて、当社グループの通期業績予想を下表のとおり下方修正します。

IAB（制御機器事業）においては、半導体、電気自動車、二次電池、食品包装機械などで好調な設備投資需要が継続するものの、部材不足の影響を受けて売上高・営業利益は前回予想を下回る見通しです。EMC（電子部品事業）においては、売上高は前回予想どおりを見込み、営業利益は付加価値改善などにより前回予想から引き上げます。SSB（社会システム事業）においては、蓄電システムの需要回復や付加価値の改善によって営業利益は前期を上回るものの、鉄道業界での投資抑制が継続し、売上高・営業利益は前回予想を下回る見通しです。HCB（ヘルスケア事業）においては、グローバルで血圧計の堅調な需要が継続すると見えますが、サプライチェーンの混乱や部品価格・物流費の高騰などの影響を受けて、売上高・営業利益は前回予想を下回る見通しです。

当社グループの通期業績は、前回予想を下回るものの、社会の変化によって顕在化している成長機会を的確に捉えることで、前期比では大幅な増収増益、営業利益は過去最高となる見通しです。

### ○連結業績予想

	前回予想	今回修正 予想	対前回予想 増減 (増減率)	(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	(ご参考) 対前期増減率 ( )は前期増減
売上高	7,800億円	7,600億円	△200億円 (△2.6%)	6,555億円	+15.9%
売上総利益率	46.3%	45.7%	△0.6P	45.5%	(+0.1P)
営業利益	980億円	880億円	△100億円 (△10.2%)	625億円	+40.8%
税引前 当期純利益	940億円	830億円	△110億円 (△11.7%)	651億円	+27.5%
当社株主に 帰属する 当期純利益	655億円	570億円	△85億円 (△13.0%)	433億円	+31.6%
1株当たり 当社株主に帰属 する当期純利益	324円58銭	283円75銭	△40円83銭	214円72銭	(+69円03銭)
米ドル平均 レート	108.9円	111.5円	+2.5円	105.8円	+5.7円
ユーロ平均 レート	129.5円	130.6円	+1.1円	123.2円	+7.5円
人民元平均 レート	16.7円	17.4円	+0.6円	15.5円	+1.8円

(注) 第3四半期までの実績レートに第4四半期の前提為替レート（1米ドル113円、1ユーロ130円、1人民元17.8円）を加味した通期の期中平均予想レートです。

○セグメント別業績予想

(単位：億円)

		前回予想	今回修正 予想	対前回予想 増減 (増減率)	(ご参考) 前期実績 (2021年 3月期)	(ご参考) 対前期 増減率
IAB	外部顧客に 対する売上高	4,430	4,300	△130 (△2.9%)	3,464	+24.1%
	営業利益 (△損失)	870	790	△80 (△9.2%)	588	+34.4%
EMC	外部顧客に 対する売上高	1,030	1,030	- -	860	+19.7%
	営業利益 (△損失)	75	80	+5 (+6.7%)	30	+170.1%
SSB	外部顧客に 対する売上高	920	900	△20 (△2.2%)	957	△5.9%
	営業利益 (△損失)	70	65	△5 (△7.1%)	57	+14.2%
HCB	外部顧客に 対する売上高	1,400	1,340	△60 (△4.3%)	1,231	+8.9%
	営業利益 (△損失)	225	195	△30 (△13.3%)	206	△5.2%
消去 調整他	外部顧客に 対する売上高	20	30	+10 -	43	-
	営業利益 (△損失)	△260	△250	+10 -	△255	-
連結	外部顧客に 対する売上高	7,800	7,600	△200 (△2.6%)	6,555	+15.9%
	営業利益 (△損失)	980	880	△100 (△10.2%)	625	+40.8%

(注) 当社グループでは、有形固定資産の減価償却方法について、2021年3月期より、当社および国内連結子会社につきまして、従来の定率法から定額法に変更しています。前期実績(2021年3月期)では、当変更による営業費用の減少額(IAB 427百万円、EMC 418百万円、SSB 370百万円、HCB 311百万円、消去調整他 594百万円、合計 2,120百万円)は各事業セグメントに配賦せず、全額を消去調整他に計上しています。前回予想および今回予想では、当変更を各事業セグメントに反映しています。



## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)		当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比
(資産の部)		%		%
流動資産	514,432	62.7	532,144	63.2
現金及び現金同等物	250,755		235,241	
受取手形及び売掛金	135,161		132,519	
貸倒引当金	△756		△828	
たな卸資産	103,265		133,132	
その他の流動資産	26,007		32,080	
有形固定資産	113,028	13.8	114,698	13.6
土地	19,778		20,891	
建物及び構築物	124,404		125,329	
機械その他	153,142		159,831	
建設仮勘定	3,281		5,596	
減価償却累計額	△187,577		△196,949	
投資その他の資産	192,919	23.5	194,804	23.2
オペレーティング・リース 使用権資産	38,153		35,267	
のれん	39,160		37,363	
関連会社に対する 投資及び貸付金	13,159		12,386	
投資有価証券	33,423		41,586	
施設借用保証金	7,675		7,636	
前払年金費用	6,736		9,448	
繰延税金	24,179		17,804	
その他の資産	30,434		33,314	
資産合計	820,379	100.0	841,646	100.0

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)		当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比
		%		%
( 負債の部 )				
流動負債	161,370	19.7	163,327	19.4
支払手形及び買掛金・未払金	69,561		80,996	
未払費用	44,441		38,074	
未払税金	3,504		4,208	
短期オペレーティング・リース負債	11,179		10,626	
その他の流動負債	32,685		29,423	
繰延税金	1,671	0.2	2,032	0.2
退職給付引当金	7,598	0.9	6,587	0.8
長期オペレーティング・リース負債	27,709	3.4	24,961	3.0
その他の固定負債	12,673	1.5	10,629	1.3
負債の部合計	211,021	25.7	207,536	24.7
( 純資産の部 )				
株主資本	606,858	74.0	631,519	75.0
資本金	64,100	7.8	64,100	7.6
資本剰余金	101,403	12.4	100,127	11.9
利益準備金	22,931	2.8	24,503	2.9
その他の剰余金	476,185	58.0	510,143	60.6
その他の包括利益(△損失)累計額	△32,945	△4.0	△12,755	△1.5
為替換算調整額	△8,096		9,691	
退職年金債務調整額	△24,567		△22,242	
デリバティブ純損益	△282		△204	
自己株式	△24,816	△3.0	△54,599	△6.5
非支配持分	2,500	0.3	2,591	0.3
純資産の部合計	609,358	74.3	634,110	75.3
負債及び純資産合計	820,379	100.0	841,646	100.0

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	
	金額	百分比	金額	百分比
		%		%
売上高	469,570	100.0	558,609	100.0
売上原価	255,622	54.4	302,227	54.1
売上総利益	213,948	45.6	256,382	45.9
販売費及び一般管理費	139,925	29.9	156,467	28.0
試験研究開発費	31,586	6.7	33,057	5.9
営業利益	42,437	9.0	66,858	12.0
その他費用(△収益)―純額―	△4,342	△1.0	3,127	0.6
税引前四半期純利益	46,779	10.0	63,731	11.4
法人税等	13,101	2.8	17,139	3.1
持分法投資損益(△利益)	△716	△0.1	1,209	0.2
四半期純利益	34,394	7.3	45,383	8.1
非支配持分帰属損益	482	0.1	568	0.1
当社株主に帰属する 四半期純利益	33,912	7.2	44,815	8.0

(注) 「その他費用(△収益)―純額―」には、本日公表いたしました「当社単体決算における関係会社株式評価損の計上に関するお知らせ」に記載の、ヘルスケア事業において取得したブラジルのNS Industria de Aparelhos Medicos LTDA.に係るのれんの減損損失3,384百万円が含まれております。

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
	金 額	金 額
四 半 期 純 利 益	34,394	45,383
その他の包括利益(△損失) 一税効果考慮後		
為 替 換 算 調 整 額	4,947	17,813
退 職 年 金 債 務 調 整 額	2,185	2,325
デ リ バ テ ィ ブ 純 損 益	△296	78
そ の 他 の 包 括 利 益 ( △ 損 失 ) 計	6,836	20,216
四 半 期 包 括 利 益	41,230	65,599
(内訳)		
非支配持分に帰属する四半期包括利益	556	594
当社株主に帰属する四半期包括利益	40,674	65,005

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	
I 営業活動によるキャッシュ・フロー				
1. 四半期純利益		34,394		45,383
2. 営業活動によるキャッシュ・フローと 四半期純利益の調整				
(1) 減価償却費	17,158		17,355	
(2) 受取手形及び売掛金の減少	19,341		5,447	
(3) たな卸資産の増加	△3,547		△27,419	
(4) 支払手形及び買掛金・未払金の増加(△減少)	△3,770		8,834	
(5) その他(純額)	△965		△2,288	
営業活動によるキャッシュ・フロー		28,217		1,929
		62,611		47,312
II 投資活動によるキャッシュ・フロー				
1. 投資有価証券の取得		△828		△4,271
2. 資本的支出		△16,254		△19,553
3. 有形固定資産の売却による収入		1,963		456
4. その他(純額)		△2,540		△607
投資活動によるキャッシュ・フロー		△17,659		△23,975
(参考) フリーキャッシュ・フロー		44,952		23,337
III 財務活動によるキャッシュ・フロー				
1. 短期債務の減少(純額)		△1,582		—
2. 親会社の支払配当金		△16,952		△17,754
3. 自己株式の取得		△1,463		△31,422
4. その他(純額)		△395		△437
財務活動によるキャッシュ・フロー		△20,392		△49,613
換算レート変動の影響		1,349		10,762
現金及び現金同等物の増減額		25,909		△15,514
期首現金及び現金同等物残高		185,533		250,755
四半期末現金及び現金同等物残高		211,442		235,241

(注) フリーキャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローに投資活動によるキャッシュ・フローを加味した金額です。

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当連結会計年度よりFASB会計基準更新第2017-04「のれん減損テストの簡便化」を早期適用しています。当会計基準更新は、従来ののれん減損テストの際に求められる2段階テストのステップ2を廃止し、報告単位の帳簿価額がその公正価値を上回る場合に、当該報告単位に割り当てられたのれん総額を上限として、その上回る額を減損額として認識することを要求しています。当会計基準更新の適用による当社および子会社への影響はありません。

(セグメント情報)

[事業の種類別セグメント情報]

(単位：百万円)

		2021年3月期 第3四半期累計期間	2022年3月期 第3四半期累計期間	前年同期比
IAB	外部顧客に対する売上高	252,886	321,326	127.1%
	セグメント間の内部売上高	3,511	4,768	135.8%
	売上高合計	256,397	326,094	127.2%
	営業費用	214,514	266,841	124.4%
	営業利益(△損失)	41,883	59,253	141.5%
EMC	外部顧客に対する売上高	61,831	78,472	126.9%
	セグメント間の内部売上高	31,350	39,832	127.1%
	売上高合計	93,181	118,304	127.0%
	営業費用	91,641	111,476	121.6%
	営業利益(△損失)	1,540	6,828	443.4%
SSB	外部顧客に対する売上高	58,634	55,234	94.2%
	セグメント間の内部売上高	5,879	7,275	123.7%
	売上高合計	64,513	62,509	96.9%
	営業費用	65,149	63,421	97.3%
	営業利益(△損失)	△636	△912	—
HCB	外部顧客に対する売上高	92,474	101,057	109.3%
	セグメント間の内部売上高	228	104	45.6%
	売上高合計	92,702	101,161	109.1%
	営業費用	75,769	84,951	112.1%
	営業利益(△損失)	16,933	16,210	95.7%
消去調整他	外部顧客に対する売上高	3,745	2,520	67.3%
	セグメント間の内部売上高	△40,968	△51,979	—
	売上高合計	△37,223	△49,459	—
	営業費用	△19,940	△34,938	—
	営業利益(△損失)	△17,283	△14,521	—
連結	外部顧客に対する売上高	469,570	558,609	119.0%
	セグメント間の内部売上高	—	—	—
	売上高合計	469,570	558,609	119.0%
	営業費用	427,133	491,751	115.1%
	営業利益(△損失)	42,437	66,858	157.5%

(注) 当社グループでは、有形固定資産の減価償却方法について、2021年3月期より、当社および国内連結子会社につきまして、従来の定率法から定額法に変更しています。2021年3月期第3四半期累計期間では、当変更による営業費用の減少額（IAB 297百万円、EMC 277百万円、SSB 226百万円、HCB 222百万円、消去調整他 439百万円、合計 1,461百万円）は各事業セグメントに配賦せず、全額を消去調整他に計上しています。2022年3月期第3四半期連結累計期間では、当変更を各事業セグメントに反映しています。

[所在地別売上高]

(単位：百万円)

		2021年3月期 第3四半期累計期間	2022年3月期 第3四半期累計期間	前年同期比
IAB	日 本	91,114	109,261	119.9%
	米 州	20,615	27,003	131.0%
	欧 州	46,186	61,003	132.1%
	中 華 圏	66,406	90,098	135.7%
	東南アジア他	28,505	33,940	119.1%
	直 接 輸 出	60	21	35.0%
	計	252,886	321,326	127.1%
EMC	日 本	14,928	16,340	109.5%
	米 州	8,906	12,033	135.1%
	欧 州	8,988	11,485	127.8%
	中 華 圏	21,210	27,480	129.6%
	東南アジア他	7,706	11,023	143.0%
	直 接 輸 出	93	111	119.4%
	計	61,831	78,472	126.9%
SSB	日 本	58,447	55,119	94.3%
	米 州	—	—	—
	欧 州	—	—	—
	中 華 圏	157	77	49.0%
	東南アジア他	—	—	—
	直 接 輸 出	30	38	126.7%
	計	58,634	55,234	94.2%
HCB	日 本	21,871	21,023	96.1%
	米 州	17,807	17,871	100.4%
	欧 州	16,488	16,139	97.9%
	中 華 圏	26,546	34,322	129.3%
	東南アジア他	9,442	11,350	120.2%
	直 接 輸 出	320	352	110.0%
	計	92,474	101,057	109.3%
消去調整他	日 本	3,392	2,520	74.3%
	米 州	—	—	—
	欧 州	—	—	—
	中 華 圏	341	—	—
	東南アジア他	—	—	—
	直 接 輸 出	12	0	—
	計	3,745	2,520	67.3%
連結	日 本	189,752	204,263	107.6%
	米 州	47,328	56,907	120.2%
	欧 州	71,662	88,627	123.7%
	中 華 圏	114,660	151,977	132.5%
	東南アジア他	45,653	56,313	123.4%
	直 接 輸 出	515	522	101.4%
	計	469,570	558,609	119.0%

(注) 日本以外の区分に属する主な国または地域など

- (1) 米州……………米国・カナダ・ブラジル
- (2) 欧州……………オランダ・英国・ドイツ・フランス・イタリア・スペイン
- (3) 中華圏……………中国・香港・台湾
- (4) 東南アジア他……………シンガポール・韓国・インド・豪州
- (5) 直接輸出……………直送輸出取引